

生演奏で楽しむ音楽科

～心豊かなひととき～

<第20回講座>

2024年2月9日(金)

声楽の魅力① バリトン

講師 迎 肇聡 (むかい ただとし)

伴奏 関口 康介



【はじめに】 男性の声の領域としては、バス、バリトン、テノールがあり、バリトンは、低い声のバス、高い声のテノールとの中間の声です。

オペラでは、テノールは若々しく華やかなイメージから、王子様や純粋な青年を演じたりします。またバスは、重々しく信頼感があってどっしりしたイメージから王様や権力者を演じることがあります。

一方バリトンは、大人の落ち着きと色気を感じさせるのが特徴で、中年や父親の役を、また、カップルの間に入って邪魔をしたり、反対に仲介役を演じることがあります。西洋のオペラと日本のオペラの最終場面の相違は、西洋の場合古くはハッピーエンドでしたが、次第に主役が亡くなるということも増えてきました。日本の場合は、「夕鶴」「泣いた赤鬼」の例を出して、恩返しをして終わるとか友達を思って旅に出て終わるというような違いの説明がありました。

【歌唱】

◎最初は、童謡から始まります。

「待ちぼうけ」 作詞：北原白秋 作曲：山田耕作

「荒城の月」 作詞：土井晩翠 作曲：滝廉太郎

(滝廉太郎の原曲と、後に山田耕作が編曲したものは少し違っています、と歌の中で説明がありました)

「あわて床屋」 作詞：北原白秋 作曲：山田耕作

「この道」 作詞：北原白秋 作曲：山田耕作

「結婚」 作詞：山之口獏 作曲：中田喜直
「くちなし」 作詞：高野喜久雄 作曲：高田三郎

◎次は歌曲

歌曲集

「沙羅」 作詞：清水重道 作曲：信時潔

- 1 丹澤
- 2 あずまや
- 3 北秋の
- 4 沙羅
- 5 鴉
- 6 行行子
- 7 占ふと
- 8 ゆめ



◎少しでもだけコミック調の歌に変わります。

「電話」 作詞：薩摩忠 作曲：湯山昭

美女と野獣より 「ひそかな夢」 作詞：Tim Rice 作曲：Alan Menken

アラジンより 「フレンドライクミー」

作詞：Howard Ash Man 作曲：Alan Menken

◎最後は歌謡曲2曲で締めます。

「君といつまでも」 作詞：岩谷時子 作曲：弾厚作

(歌った後「少し恥ずかしいです」とつぶやく)

「昴」 作詞・作曲：谷村新司

迎講師と伴奏関口さん（ピアノ演奏）は、
ぴったり息が合い、迎さんも関口さんの伴奏
に感謝していました。

素晴らしい歌声に聞き惚れているうちに
終了、
すがすがしい気持ち一杯になりました。



